
みつけない

白坂 ゆのる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みつけない

【Nコード】

N9206E

【作者名】

白坂 ゆのる

【あらすじ】

悲しい心だけを、描くことを目的としたものです、

「もう、あのひとのことはすきじゃないから」
つよがり、なんて、自分が一番よくわかってる。
だけど、あのひとのことを想えば、痛む。

あなたのなまえすら、狂おしいほどのリアリティをもってあたしを
苦しめる。

苦しくて、苦しくて、痛くて、もうだめだった。
弱いあたしは、傷ついてまであのひとのことを想えなかった。
否、想うことはできる。でも傷つくのがこわいのだ。
だから、もうあのひとに興味のないふりをした。

そうしておけば、いつかこの想いは消えるだろう。そう思って。
そうしておけば、いつかこの痛みは消えるだろう。そう思って。

べつに、すきじゃなくなることなんて、たいしたことじゃない。
そう、自分にあたしは言い聞かせた。
弱いあたしの、見えすいた虚勢。
そうしなきゃ、あたしが壊れそうで、怖かった。

だけど、
だけど、できなかった。
手はあなたのぬくもりを。
目はあなたのすがたを。
耳はあなたがあたしを呼ぶ声を。
鼻はあなたのおいを。
五感が、すべてがあなたを探していた。

否、探さずにはいらなかった。

恋しかった。懐かしかった。

あなたが、ほしかった。

そんな自分に気付いてしまったとき、あたしはまた、壊れた。虚勢をはることで、護っていた「自分」。

それさえも、あたしは失ってしまった。

結局、いつの間にかあなたはあたしの一部になっていたのかもしれない。

あなたがいないから、心にぽっかり開いた穴が、ほら、こんなにも痛む。

いつから、こんな自分になってしまったのだろうか。

いたい、いたい、いたい、あいたい。

いくら求めても、

もうあなたはもどってはこない。

そう、あたしはただ夢をみていただけ。

ほら、そう思えば、すこし楽になれる。

そうして、あたしはあなたへの想いごと、消えていくのだ。

「ねえ、あたしを見つけてよ」

あなたにすら届かない声は、いったいどこへいくのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9206e/>

.みつけない

2010年12月7日19時58分発行